日本の交通網と時間距離

高速交通網の整備で、日本の各地の結び付きはどう変わったか



南西諸島・小笠原諸島は、わくの中に移して示している。

時間距離が縮まる（東京〜新大阪）

1964年（開業のころ）

約4時間

今

約2時間半

道のりの長さは変わらないが、かかる時間は短くなる。

時間で表した距離を「時間距離」という。

帯の長さは所要時間に合わせた（最も速い列車のおよその値）。

人や物の動きの変化

- 日帰りできる範囲が広がり、出張や観光がふえる
- 高速道路ぞいに工場や物流施設が集まる
- 航空路で、遠くの都市とも短い時間で結ばれる
- 大都市に人や買い物客が吸い寄せられることもある

路線は主な区間の模式（駅の間を直線で結んだ）。所要時間はダイヤによって変わる。